

栄光 ～輝くとき

未来を変えるのはきみだ!
あきたキッズ
プログラミングアワード入賞

県内の小・中学生がプログラミングを活用した発想を披露する「あきたキッズプログラミングアワード」が行われ、仙北市からは5人が最終選考まで残りました。残念ながら最終審査は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、その栄誉からファイナリスト賞が授与されました。

5月27日 市役所角館庁舎に報告に訪れた児童・生徒たちは、今回の入賞について「仙北市のため、誰かのため、に役立つ、ほしい」という思いから



左から羽崎ことあさん、芳賀音羽さん、高橋りのあさん、藤井咲那さん、齋藤ひなたさん。

- ◆考えたアイデアでした。最終選考まで残れたのはうれしかったです」と共通して話しました。
- 【ファイナリスト賞】 敬称略 ※学校名・学年は応募当時のもの。
- ◆羽崎ことあ (西明寺小学校6年)
- ◆芳賀音羽 (同)
- ◆齋藤ひなた (神代小学校6年)
- ◆高橋りのあ (同5年)
- ◆藤井咲那 (同5年)

来年もきれいな花が咲きますように
桜もきれいな花が

5月27日、角館中学校2年生と大曲支援学校せんぼく中学校の生徒が、角館川堤の桜並木に肥料をあてました。この日参加したのは、両校あわせて約130人。桜並木の一部、およそ900mにわたって、木のそばにあげられた穴に肥料をいれていき、作業は1時間ほどで終了しました。

角館中学校の大澤遥佑さんは「毎年きれいに咲くのが楽しみ。たくさんの手間がかかるけど、感謝を込めて見たい」、大曲支援学校せんぼく校3年生の佐々木なごみさんは「3年間、



生徒たちは丁寧に肥料を施していました。

施肥作業に参加した。私たちが肥料をやったきれいな花を咲かせてくれてうれしい。来年もきれいな花が咲くことを楽しみにしている」と感想を述べました。

残念ながら今年の桜まつりは中止でしたが、生徒たちの作業が一助となり、また来年もきれいな花が咲き、たくさん人の目を楽しませてくれることでしょう。

宿泊業と農事組合法人とのマッチング

人手不足解消のための新たな取り組み



手際よく苗を運ぶ芳賀さん(右)と浅利さん(左)。

5月25日と26日の2日間、異業種間で人手不足を補い合おうと仙北市で初の試みが行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため営業を自粛していた宿泊業の従業員が、田植えの繁忙期で人手不足の農事組合法人で田植え作業を行いました。

今回ご協力いただいたのは鶴の湯温泉から浅利克伸さん、妙乃湯から芳賀博幸さん、農事組合法人サンファーム西木(代表理事:藤村隆清)です。

普段はフロントや配膳などの接客を行っている浅利

浅利さんは「長期間休みで出歩くこともできずに収入が減ると大変な1か月だった一方、普段やれないこともできてよかったという一面もあった」と、芳賀さんは「普段は長時間立ち仕事をしているが、また違う筋肉を使っている。自粛期間、部屋からでないような生活だったので、外に出られるだけでうれしい」と話してくれました。

今後、この取り組みがモデル的な事例となり、異業種間での人手不足の補い合いに結びつくことが期待されます。

またうら

心豊かな教育文化のまち
《仙北市教育委員会だより》
第104号

検木内中学校 ふるさと検木内を守る活動

5月29日、晴天に恵まれた午後、新緑に囲まれた検木内地区の内陸線駅6駅を中学生がきれいに清掃しました。実施した6駅は「羽後長戸呂、松葉、羽後中里、左通、上松木内、戸沢」です。

内陸線は地域の人々にとっては、生活の一部となっています。地域に貢献することも自分たちのふるさとを守っていくという思いを高めることをねらいとして行いました。これは全校生徒で取り組むボランティア活動の一つとして毎年行っているものです。

羽後長戸呂駅担当のグループは駅舎内の清掃とホーム周りの草取りに分かれて作業をしました。その日の青い検木内シャツ(胸には熊さんマーク・背にはひのきなのロゴ入り)を着てきびきびと動き始め、駅舎のほこりとクモの巣を払い、掃いて拭きました。ペンキの剥がれは仕



丁寧に、すみずみまでしっかりと!

方がないけれどドアと窓のガラスを磨いて見違えるようになりまし。周りは伸び放題の草を取り、さっぱりとしました。時折、飛び出てくる虫に悲鳴をあげながらも、みんなで協力し、楽しく1時間ほどで作業を終えました。ペンキは次回挑戦します。

3年生の安達優馬さんは、「私たち3年生にとってこの活動も3年目。1年経つとこんなに汚くなっていて驚いた。乗り降りする人たちがきれいに使ってくれとうれし、利用する地域の人たちに気持ちよく使ってもらいたい。次は白線引きのボランティアに来る。後輩たちにはこの活動を大事にし、地域の人たちへ「元気、感動、温もり」を伝えていってほしい」と話してくれました。



作業の合間にやってきた列車をお出迎え。

角館小学校 How are you? I'm happy!



「I'm happy!」

「Hello! こんにちは!」、5月20日、教室にALTのイーサン先生と外国語指導助手の大澤先生が元気よく入ってきました。ここからは英語が教室中を飛び交います。よく聞いていないとわからなくなってしまうですが、子どもたちは英語コミュニケーションを感覚でこなしていきます。

5年生は自己紹介。「How do you spell your name? (名前のつづりは?)」「What color do you like? (好きな色は何?)」「What food do you like? (好きな食べ物は何?)」と、次々と相手を見つけて声をかけます。先生方はさりげなく「カードを見せるよ、Here you are. (どうぞ)」と声かけ、お話を終えるときは「Thank you. (ありがとう)」と声かけ、お話を終えるときは「ね」と会話の仕方を教えています。

5年生の伊藤将愛さんは、「英語の授業は好き。前よりしゃべれるようになったから自信がついてきた。去年、桜の町の案内人をやったときには外国人の人たちとも英語で話すことができた」と教えてくれました。

3年生はイーサン先生と初めての授業でした。イーサン先生は子どもたち一人ひとりと目を合わせ、あいさつをしてみました。「I'm happy! (この場合は「元気だよ!')」「I'm hungry! (お腹がすいた!')」「I'm sleepy! (眠いよ!')」と元気に応えると周りの子どもたちもみんな笑顔になりました。この日は1から10までを英語で言う練習でした。すでに知っている子どもも多いのか、自信満々の声が響いていました。

3年生の村岡ひまりさんは、「授業は楽しい。イーサン先生や大澤先生との授業もおもしろいし楽しみ」と教えてくれました。隣にいた女の子がイーサン先生のことを「かっこいい!」と言ったのを聞き、にこっと笑ってうなずいていました。難しい印象もあるようですが、英語学習1年目のよいスタートを切っているようです。



お手本を見ててね。